



ぼらんていあ通信

2月号
通巻 No.495

発行/NPO法人 相模原ボランティア協会 2023年2月21日

連絡所 〒252-0236 相模原市中央区富士見 6-1-20 あじさい会館・中央ボランティアセンター内

TEL/FAX:042-759-7982 Eメール:sagamiva@feelcnr.jp HPアドレス:https://sagamivanfo/

講座開催のお知らせ

ボランティア見本市Part2
新しいボランティアのかたち

今、求められているボランティアって？
また、SDGsとボランティア活動って？など、これからの生き方のヒントになる講座です。

詳細は、同封のチラシをご覧ください。

多くの皆さまの参加をお待ちしています。



申し込み

3月25日(土) 午後2~4時
あじさい会館6階 第1展示室

お知らせ

今年も

南区地域福祉交流フロンティアの

「50代から始める地域活動

」に参加します。

3月25日(土) 午前10時~午後3時

小田急線相模大野駅より徒歩3分のポーノ相模大野2階にあり、駅に近くとても便利な会場です。

たくさんの方のご来場をお待ちしています！

50代から始める地域活動

「マッチング相談会」に参加します

これからボランティア活動してみたいという方々に、地域で活動している団体がブースを設け、パネル展示などにより口頭の活動を紹介するイベントです。お待ちしております。

3月18日(土)
PM2:00~ 講演
ソレイユさがみ
PM3:00~ 相談会
橋本公民館



DVD制作実行委員会からのお知らせ

DVD制作実行委員会では、相模原でボランティア活動をなさっている方々にインタビューをし、なぜボランティアをやったのか、また、どういうことをやっているのかなどをお聞きし動画にまとめた人シリーズ、

ともに歩くなかまたち

／インタビューシリーズ

「さがみはらのボランティアたち」

を制作しています。

1作目はボランティア協会でもご活躍いただいている「小野明雄さん」です。

協会HPの**情報発信**→**動画番組集**にアップしています。

ぜひ感想をお寄せください。

DVD制作実行委員会

投票はぜひお済みですか？

今年も、2023年度役員選挙があります。

7氏が立候補をされていて、投票締め切りは今月末の2月28日です。

投票用紙は、ぼらんていあ通信1冊に同封致しました。

投票箱は「あじさい会館・ボラ協事務局」に設置してありますので、会員の皆様は持参していただくか、または郵送にて締め切り厳守をお願いします。

FAXは不可です。

28日消印有効です。

役員選出管理委員会



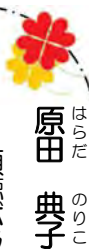


私が傾聴を知ったのは、去年のことです。たまたま通つたようになった接骨院でのことです。ペットロスを抱えていた私のお話を、先生はただうなずいて聴いてくれたのです。するとなだかほっとして、心のなかの固まりが溶けていくように感じました。

そして、傾聴の講座があることを知って、さっそく申し込みをしました。傾聴についてもっと知りたいと思つたのです。先生のお話はとてもわかりやすく、傾聴の基本を学ばることができました。そして実際の活動にも一度参加させていただけようかと申し込みました。

悩み事や、ちょっとした引っかかりについてのお話を人に話した場合、たいして返つてくれないのは、中傷や感想や同情などばかりです。ただ聴いてもいいですが、あまりの聞きかたは、聞いてもいじわるです。人は自分を肯定するところから、大切に感じ、見守るという行為が、その意味があると思います。

私もまだよくわからないのですが、お話を聞いて、話を聞いてくださる方が、思つておられます。



2022年の傾聴ボランティア講座を受講した後、傾聴ボランティアに入会させていただきました。今、社会は高齢化が進み一人暮らしの方も多く、人との話す機会が少なくなっている様だと思います。その方々の心に寄り添っていく傾聴のお手伝いをさせていただければと思います。あのボランティアの本にその人の姿を通じていろんなメッセージを私たちに投げかけている中、ただただそのメッセージを受け取るだけでなく、書いてあったのを出し、高齢になっても、障がいがあることも、認知症であっても、必ず誰かの何か役に立っていて、それを受け取るボランティアになれるように思っています。いろいろな心と心とを、活動させていただきたいと思つています。いろいろなことをお願いいたします。

傾聴ボランティア

傾聴の講座があるの聞き、昨年開催された講座に参加したのが入会のきっかけです。視覚障がいを持つことで、相模原市視覚障害者の会にご加入しています。音楽が好きで、好きな音楽を聞くことや、その手であるけれど、みんなで声を合わせて歌ったり、そこちよこつていから美味しい物を食べるのがホットタイムです。私はボランティア活動の一年生。



傾聴の講座があるの聞き、昨年開催された講座に参加したのが入会のきっかけです。

視覚障がいを持つことで、相模原市視覚障害者の会にご加入しています。音楽が好きで、好きな音楽を聞くことや、その手であるけれど、みんなで声を合わせて歌ったり、そこちよこつていから美味しい物を食べるのがホットタイムです。私はボランティア活動の一年生。

私が健康、1指導者のボランティアです。*鈴木正子様、昔の相模原の様子を、来月の「会員の広場」で語っていただければ、お楽しみですね。

新しいお仲間を迎えて!



切手グループから

「寄付をいただきました!」

ボランティア協会 会長 高橋 功



2023年2月3日に市社協登録名「切手グループ」(代表者 立石雅子様)から25万円の寄付を頂戴しました。本当に有難いと思います。

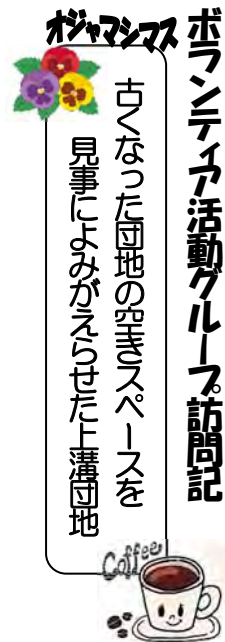
「切手グループ」は白濱豊子ちゃん等の発案で1986年に設立されました。

設立の目的は、相模原ボランティア協会のハンディキャップ購入資金等を寄付するためとされています。36年間の寄付の総額は福祉車両2台と3台分くらいにはなっています。

1つの仕組みは、1家庭や職場などから、封書ではがきの切手の部分を切り取ったものがボランティア協会に持ち込まれます。送られてきたものには、遠く四国や北海道その他遠方の方からのものもあります。これを切手グループの方が整理して、切手収集の方に引き取っていただいているのです。

切手グループ設立当初は20数人のグループだったのですが、現在は6人で月3〜4回金曜日に活動されています。6人の平均年齢は75歳程度。バスを乗り継いで来られる方もありながら欠席もなく続けておられます。皆さんは整理活動はかりでなく、皆で顔を合わせたい、外出をたのむことも楽しみで集まっています。

これからお元気な活動であなたも願ひを、今後いっしょの活動をぜひご参加ください。



ボランティア活動グループ訪問記

古くなった団地の空きスペースを
見事によみがえらせた上溝団地

前回は月おじやまじやますに掲載した野菜移動販売のついでさんがお店を開いていた場所、県営上溝団地のかつてのスーパー跡地に出来た「コミュニティスペース」で毎週土曜日午前10時から12時まで開いているシルバーカフェにおじやまじやまです。

前もって1月31日に市社協光が丘地区担当の山田智恵さんにこれまでの経過などのお話を伺っていた。県からの打診を受けたのが2018年8月。2019年9月、場所が旧スーパーストア横の事務所跡に決定。「上溝団地健康団地推進協議会」が発足した。「社会的孤立や世代間交流の不足などを解消して安心して住み続けられる団地を目指す」という目的で、光が丘地区全体の取り組みとしていこうと、工事の着工が決定した。2020年2月から修繕が始まるが「コロナ禍の影響もあって予定の変更が必要が続き、そのおかげで入口前に花壇が先にできあがった。そして市内の相模原塗装協同組合の協力もあってシャッターが綺麗に塗りの替えられ、子供たちで素晴らしいの絵も生まれた。2021年10月「コミュニティスペース」が無事完成して「シルバーカフェ」のプレオープンにこぎつけたのだ。



近所から注文が入り出前に向かう阪本さん



2月4日(土)
立春の日10時の
開店に合わせて
むかっ。上溝
団地は広大な敷
地だがその中央
部に郵便局、集
会所、児童館、医院などがあり、そこに隣接してかつ
てのスーパーストアがあったのだ。場所を聞くには分か
りやすいところだった。通りに面して「シルバーカフ
エ」の立て看板がみえた。奥へ進むと一番に整備され
たというプランター栽培のパンジーや桜草の花壇が。
隣には野菜も植えられていた。さっそく開店準備に
忙しい責任者の阪本敏彦さんと事務局長の山田盛二さん
に迎えていただいた。

この場所の名称は「健康お茶への庵 ほっこり屋」と名付けられ、住民の手作りだという素晴らしい看板が掲げられている。外にもシルバーカフェのテーブルがしつらえてあり、今日の穏やかな立春の日の陽気にはうつつけた。すでに何人か腰をおろしてお話にも花が咲いているようだ。この場所は役所の管理ではなく、ここを実現させた地域の皆さんで運営している。近隣の方たちでなくても利用できるそうだ。空いている時は包括支援センターが体操教室にも使っているが、



シルバーカフェの立て看板 本当にホッコリです

シルバーカフェについて詳しく

毎回なかなかの盛況で平均でも1回25人ぐらいの利用者があり、もう2年目になるとか。スタッフは女性4名、男性3名で元民生委員、元包括支援センターの所長さんなど。以前このオシヤマシマスで伺ったことのある「出張ミヤタ珈琲」さんも、お母やまご親子

でスタッフとして参加されていて評判のミヤタ珈琲を提供している。スタッフの方たちも顔なじみが多いので気楽に来ることができるといって面もいろいろであるようだ。

お客さんは男の方が割合多いのではないかと感じる。参加者の92オという男性は得意の詩吟で「シヨウネン オイヤスク ガク ナリガタシ…」を披露してくださった。すばらしいだけに皆さん全員拍手をおくった。また別の男性は「家で一人テレビを見るより、ここに来て皆さんとお話ができるのが楽しい」と。中には「携帯電話の音を大きくしてほしい」と頼んでいる方、「入れ物のフタが開かない」と男性スタッフに駆け寄る方など、もつ和気あいあい。私達も参加表に記入をして100円で「この売りであるミヤタ珈琲をいただく。お菓子付きでお茶、紅茶などお代わり自由だそう。運営は地区社協からの助成金などで賄われている。近隣の方のみならず通りがかりの方も、相模原光が丘郵便局隣りを指して立ち寄ってみてください。(小見 植野)



手作りの「健康お茶への庵ホッコリ屋」の看板



*連絡先 光が丘地区社協事務局
相模原市中央区光が丘3-7-1
1階
TEL 042-707-1332

理事の報告

2月11日(土) 理事会(理事8名出席)

1、報告事項

〈広報委員会〉

・動画「仲間たち」をホームページにアップした。

〈ハンディキャップ委員会〉

・11号車について必要な修理・整備を行いました。

・今後の利用料のありかたについて次年度に検討することとした。

〈事務局委員会〉

・ハンディキャップの福祉有償運送事業登録更新の申請を行った。

・認定NPO法人の更新申請を行うべく準備中である。

〈講座検討委員会〉

・3月25日の春講座のPRを開始する。

・7月に夏講座を行うべく準備を開始した。

〈DVD制作実行委員会〉

・会員などへのインタビュー番組(5分)を制作中。

〈その他〉

・切手グループから25万円の寄付をいただいた。

・南福祉交流라운ジのふくしまつりに参加する。

2、審議事項

・交流ボウリング大会を6月に行うべく準備を開始。

・改訂版の協会リーフレットを制作中。3月から使用。

・3月18日のマッチング相談会への参加を準備中。

・定期総会を5月21日実施で諸準備を進める。

・市民若葉まつり(5月13日、14日)へのパレードと福祉バザー参加に引き続き進めることとした。

次回理事会は3月11日(土) 10時より



相模原ボランティア協会 3月の予定

日曜	時間	内容
2(木)	1300~	役員選出投票開票
4(土)	1330~	HC委員会
7(火)	1030~	広報委員会・ぼら通部会
11(土)	1000~	定例理事会
18(土)	1300~	事務局委員会
	14:00~	地域活動マッチング相談会(ソレイユさがみ)
22(水)	1300~	ぼら通3月号印刷
23(木)	1300~	ぼら通3月号発行
25(土)	1400~	春講座「ボランティア見本市・Part2」
	1000~	南区地域福祉交流라운ジ 라운ジふくしまつり

3月の記念日は?

小倉義男

3月7日、消防記念日です。
1950年に国家消防庁(現在の消防庁)が制定。1948年のこの日、消防組織法が施行され、明治以来警察の所管とされていた消防が警察から独立して消防庁の所管となったことから、この日が記念日として制定されたそうです。昔は、火事や救急の仕事も警察がやっていたんですね。大変でしたね。f_(: 小倉画



杉崎 正子さんを偲んで

西本 敬

杉崎正子さん
1981年の協会創立間もない頃から活躍された会員の杉崎さんがお亡くなりになったこと、ついに2月27日。

杉崎さんは長く広報委員会では幅広く関わってこられました。協会の10周年記念誌(1991年発行)にも、1985年には広報委員長として活躍しています。その10周年記念誌発行時は相模原市点訳赤十字奉仕団の委員様でもいらっしゃいます。ご逝去と静かに過ごされたい活動をお望みいたします。



令和5年相模原市賀詞交換会に高橋会長が参加しました。
1月5日(木)10時半から市民会館ホールで開催され、本村市長のご挨拶に続き、國中JAXA 研究所長と中谷プロボクサーの講和がありました。



公益社団法人 相模原青年会議所
2023年度 新年賀詞交歓会に恒藤副会長が参加しました。
昨年お世話になった八木さんと2ショットも!

傾聴を学ぶ

「心のケア・フォーラム」に
Zoom参加中



傾聴ボランティア
小川 紀江

昨年の終わりを迎えるころ「コロナ過での心を支えるボランティア活動の実践」というテーマで財団主催のオンライン会議に参加する機会がありました。

(傾聴活動が続いているだけで、「すごい」「すごいらしいですよ」などと押し付け気味の物言いの多い私を反省しながら、どうしたらよいのか迷いの中にいた時期だったので、すぐに申し込みました。)

講師は、ミツガン大学で高齢者と家族の社会心理学アセスメントやソーシャルワーカーに長年携わっていらした「フォーカス阿部まり子氏」

(なんと「ミツガン」からの講義です！「コロナが残ったけれど大きな遺産は、このZoomで日本だけでなく世界中がつながる機会」…「日々その恩恵で様々な勉強が出来る幸せを味わっています」)

主に助言者としての講師の基調講演の後、傾聴活動を実践するボランティア5団体(備前高田市・気仙沼市・仙台市・神戸市・立川市)から、設立経過と活動経過、そして現在の悩みなどが発表されました。

ほんのうが大きな災害(1995年の阪神淡路大震災・2000年の三宅島大噴火・そして2011年の東日本大震災)がきっかけになり、保健所、社

会福祉課や医師会などが講座を主催して設立されたところ。)

当時は被災者を対象としたので、拒否や沈黙になる方などは「寄り添うことのみ、やがて心に寄り添えてからやっと思いを聞くことが出来た。」「ハブ住宅の時は一歩外に出れば、同じ地域の顔見知りに出会い、笑顔も戻ってきた。ボランティアも迎え入れてくれるようになり、良い方向に向かっていた。

が、立派な住環境が整い、ハブからの引越しが始まると、孤独が待ち受けていて(喪失感からの自死、うつ等が頻繁におきた)これが被災者にもボランティアにも苦悩を伴った新たな大きな問題になった。

「コロナもあり、対面での傾聴活動が出来なくなり、知恵を絞った結果、手紙や電話での訪問に切り替えている所もあるようです。

「コロナの規制が緩やかになり、集まれる機会が早めに出てくるようになると良いなあと願っています。

(私たち相模原では、訪問を早くから再開し、それも被災者の方ではなく認知症気味のお年寄りを訪問する機会が多いですが、この講座を受けたので、利用者などが何を楽しくして何をしたいか、思っているのか、いつも気にかけてながら、黙って傍に温かい気持ちで心に寄り添えるボランティアを目指して頑張っています。)



が思われます。

年初にはおめでたいけれども年賀状もいただいたのに、まだ信じられないという心境です。

「冥福を心よりお祈り申し上げます。

山崎 由紀子

山崎さんは、ボランティア協会や地域での多岐にわたるボランティア活動と、コーラスやギターなど多趣味で、うまくバランスをとり、人生を豊かに過ごされた方だと思っています。私もめやかりたいもの。心から冥福を祈ります。

三十尾 幸子

山崎正子さんは点訳奉仕団でも、ボランティア協会でも星が丘公民館でも、私よりずっと以前から主になって活動なさっていた。点訳奉仕団では昭和62年から平成9年まで11年間委員長として皆を引っ張っていられた。

手芸サークル系々も最初は最初から中心になって活動され、私は安心して代表を引きつづけてきました。

今、あなたを失ったからといって何かと、とまどうして、私たちの活動を引継ぎますと続けること、山崎さんの活動に感謝です。最後に「冥福を祈ります。主人の胸にだかれて旅立たれたことでした。

「冥福を祈ります。

P.S. いろいろ思い出が色々、なかなか文章になりません。いつも自分の体調のことはおっしゃるが、三十尾さんはごかげん、気がつかっていただけたら幸いです。

山崎さんからは、本当にたくさんのご支援をありがとうございました。感謝申し上げます。 広報委員 一回

ボランティアさん募集！

学習支援の場 ボランティア！

団体名 「かけはし」 淵野辺校
 日時 第1水曜日・第3水曜日…午後5時～7時30分
 第2日曜日・第4土曜日…午後2時30分～5時
 場所 小口こどもクリニック
 (中央区鹿沼台 1-7-7 トラストテック相模原ビル5F)
 内容 小・中学生の居場所づくり、学習のサポート
 ※高校生・大学生が中心になって活動しています。
 もし、ボランティアに興味のある学生さんが身近にいましたら、ぜひお誘いください！
 申込み 右の二次元コードから「子どもの居場所情報サイト」を開き、担当者にご連絡ください。
 ☆サイトを開いた際は、他の居場所の募集情報も調べてみてください！



連絡・問い合わせ先

相模原ボランティア協会あじさい連絡所 : 電話 042(759)7982
 相模原市社協 中央ボランティアセンター : 電話 042(786)6181
 FAX 042(786)6182
 メール : svc@sagamiharashishakyo.or.jp



ご寄付をありがとうございました。
 皆さまのご寄付は当協会の運営に有効かつ大切にに使わせていただきます。

<1月の寄付者>

3名の方からご寄付を頂きました。

<1月の寄付金>

9,600円でした。

山口尚美画



《今月のイラスト》
 … いざ卒論 …
 テーマも決まらずまだ白紙…

編集後記

2月10日、わが街さがみはらではこの冬初めての雪降り。シャベット状態で、歩くのもちょっと慎重になった。それでも近くの小学校の子供達は校庭に入れ替わり立ち替わりで大騒ぎしながら遊びに興じていた。先生方はチョット大変そうに見えた。我々高齢者はお互いに歩き方を教え合いながらも、外出は慎むべきだと思ったのだ。

(植)

会員登録更新について

2023年度の会員登録更新が、4月1日から始まりです。
 ぼらんていあ通信3月号に手続きのご案内を同封いたします。

事務局